

## 第13回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 まちづくり推進部会 主なご意見

開催日時：平成31年2月22日（金）10:00～12:00

開催場所：大宮区役所南館3階 301会議室

出席者

選出区分	役職等
学識経験者	東京大学 大学院工学系研究科 教授
地元 まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 会長
地元 まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 理事
地元 まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 会長
地元 まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 副会長
地元 まちづくり団体	大門町一丁目駅前まちづくり協議会 会長
地元 まちづくり団体	大門町一丁目駅前まちづくり協議会 副会長
地元 まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 副理事長
地元 まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 大宮区 副区長
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	都市再生機構(東日本都市再生本部 事業企画部) 事業企画第2主幹

#### ■ 構想実現案の作成について

- ・ 駅前への交通広場の整備は乗換利便性が高い一方、集客が駅に偏ってしまう。まちに賑わいを持たせるため、人を回遊させる必要がある。
- ・ 大宮駅東口は土地の有効利用が重要となってくる。地下空間に交通広場・地下駐車場・エネルギー施設等の全ての機能を入れるのは難しいかもしれないが、どこまで可能か検討していきたい。
- ・ 交通広場の規模の検討に加えて、“歩行者の視点を意識したつくり方を検討してほしい”という点も強調すべきである。現在は、交通広場・交流広場が分離して検討がなされているように見受けられる。しかし、交通広場と交流広場がつながることの効果についても考えていくべきである。
- ・ 行政改良案2案について、鉄道事業者の意向が見えない中で、なぜ提示されている図面が出てくるのか。駅の建物が確定してから図面を描くべきである。
- ・ 交通広場に民地が干渉されるため、再開発の事業性や再開発ビルを駅へ寄せるための構造等に対する検討が必要である。

#### ■ まちづくりガイドライン（素案）について

- ・ 「時とともに深みを増すアーバンデザイン」という文言は、古くなるのが魅力になるようなデザインを考えなければならない、といった意図である。また、「スマートシティ・スーパーシティ」は目指すものではない。ガイドラインには、「スマートシティ・スーパーシティ」で何ができるのかを述べなければならない。
- ・ 対象範囲には宮町一丁目中地区も含まれている。GCS 推進会議の中で一緒に議論をするのは難しいかもしれないが、含まれていることを意識して議論すべきである。
- ・ まちづくりガイドラインは最低限のベースとなるもので、まちの完成形ではない。各地区でガイドラインの上を目指す議論をしていかななければならない。
- ・ デザイン調整ワーキングでは市民や歩行者等がまちを楽しむのが重要という議論がなされ、パースのようなまちになると嬉しく思う。基盤は重要だが、基盤中心の議論ではなく、まちを利用する側のことを考えてもらいたい。

- ・地下整備については、整備を始める段階で意見調整がなされておくべきである。また、駅と連携した地下街があっても良いかと思う。人の流れが生まれ、雨風が凌げ、防災上も必要である。
- ・人が移動する際には便利なところを利用する。それにも関わらず、パースでは階段が広く表現されている。パースでは良いところばかりが描かれている。
- ・「首都圏を支えるセーフティバックアップシティ」は大宮のみで首都圏をカバーするのか。防災で何をするのか絞りこむべきである。

#### 《部会長まとめ》

- ・「新たな価値を発信する・大宮を創造する」といったときに、「クリエイティビティを支えられるものづくり」、「人と人との滞留・交流をして新たな価値づくりまでいける空間づくり」という点が抜けていると個人的には感じる。
- ・ガイドラインの位置づけや何を指しているか明示が必要である。
- ・地下については、総合的なインフラを収める場所として活用することも検討する。一方で、地下整備ができないからといって上部の開発ができないといったものでもない。
- ・「スーパーシティ・スマートシティ」は道具であり、何を指すのかが述べられるべきである。
- ・セーフティバックアップシティは大宮周辺の人にとっても重要だが、首都圏のために犠牲になるのではなく、首都圏の一員としてリーディングする位置づけかと思う。
- ・「深みを増すアーバンデザイン」は、完成した時が一番良いのではなく、皆がこの街に関わるから感動するものになるような景観が出来上がるということが述べられるべきである。